

この情報紙は、共同募金の配分金で作成しています。

平成22年3月 第45号

発行：社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会  
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2 (旧庁舎1階)  
TEL.04-2926-8202/FAX.04-2925-3419  
http://www.toko-shakyo.or.jp/

社会福祉法人  
所沢市社会福祉協議会  
**GO! DASH!**

所沢市社会福祉協議会が進める住民主体の地域福祉活動のシンボルマークです。

★「ちゃお」とは…

イタリアで親しい間柄であいさつに用いる言葉 (ciao)。おはよう、こんにちは、さようならを兼ねる。気軽に声をかけあえる地域福祉を目指す所沢市社会福祉協議会 (所沢社協) の情報紙「ちゃお!」は、所沢の福祉情報をお届けします!

●本紙では、固有の名称を除き、「障害」を「障がい」と表記します。

目次

- 特集 地域福祉活動計画ただいま推進中①～③
- 福祉の現場から/住民参加型福祉サービスにご協力を!④
- ところざわのピカリ活動/教えてこまちゃん⑤
- 赤い羽根～共同募金運動のご報告～⑥
- 社協会費のご報告⑦
- 所沢社協掲示板⑧

# つながる・ひろがる・ぶくしおわ ちゃお! No.45



(写真右上) パネルディスカッションの様子。所沢市内で既に組み込まれている地域福祉活動が紹介され、参加者からは参考になったとの声も。  
(写真右下) 会場の様子。  
(写真左上) タレントの荒木由美子さん。荒木さんの介護体験と家族の絆の話は多くの参加者の共感を呼んでいました。

安心して介護ができる、  
支えあいのまち ところざわをつくる

所沢市地域福祉活動フォーラムに約260人が参加

さる二月二十日、所沢市社会福祉協議会(以下、所沢社協)主催「所沢市地域福祉活動フォーラム」を小手指公民館分館で開催しました。「介護」を切り口に、今のような「地域の福祉力」が求められる、どのように高めていく必要があるのかを探りました。記念講演では、タレントの荒木由美子さんをお迎えし、「介護を通じて見えたこと」家族の絆、人との絆」をテーマにお話しいただきました。二十一年にわたる壮絶な介護経験をもとに、家族の絆の大切さもあわせてお話しされました。荒木さんのジェスチャー入りの臨場感あるお話には会場は笑いと涙があふれていました。

パネルディスカッションでは、厚生労働省社会・援護局地域福祉専門官で前地域福祉活動推進会議委員長の中島修さんをコーディネーターに迎え、パネルに三ヶ島地区在宅介護の会代表の木下雄二さん、山口地区地域福祉ネットワーク会議委員長で地域福祉活動推進会議委員の本橋源一さん、所沢社協青木寿美江介護サービス課長、そしてコメンテーターとして荒木由美子さんに登壇していただきました。安心して介護ができる支えあいのまちの具体的な取り組みについて報告してもらうと同時に、これからの地域福祉活動のあり方について意見交換をしました。

## 特集

地域福祉活動計画  
in 所沢  
ただいま推進中!



地域福祉  
活動計画

施策19